

飯綱町小学校統合だより

飯綱町

No.6

平成29年

2月1日

教育委員会

これまでに行われた交流活動

だんだんと友だちに慣れ、建物（教室）にも慣れてきました。



日曜	時間	地区・交流学年	会場
6月21日（火）	9:00-10:30	牟礼地区4年生交流会	牟礼東小学校
7月4日（月）	9:00-15:00	牟礼地区4年生合同社会見学（町内）	
7月14日（木）	10:00-11:20	三水地区2年生交流会	三水第一小学校
	10:00-11:20	三水地区4年生交流会	三水第二小学校
7月15日（金）	9:00-11:00	牟礼地区2年生交流会	牟礼東小学校
9月14日（水）	9:50-11:30	三水地区1年生交流会	三水第一小学校
9月27日（火）	10:45-12:10	三水地区3年生交流会	三水第一小学校
10月4日（火）	9:00-15:00	牟礼地区1年生（西小2年生）	合同遠足
10月13日（木）	9:00-10:15	牟礼地区4年生交流会	牟礼西小学校
	10:30-11:30	町内5年生交流会	三水第一小学校
11月4日（金）	9:55-11:00	三水地区4年生交流会	三水第一小学校
11月8日（火）	10:00-11:00	三水地区1年生交流会	三水第二小学校
11月18日（金）	10:00-12:00	牟礼東小児童会祭りへ牟礼西小1年生参加	
11月24日（木）	10:00-11:30	三水地区2年生交流会	三水第二小学校
11月28日（月）	9:30-10:30	牟礼地区3年生交流会	牟礼西小学校
11月28日（月）	9:45-11:30	三水地区3年生交流会	三水第一小学校
1月23日（月）	14:40-16:00	町内6年生新入生体験入学	飯綱中学校

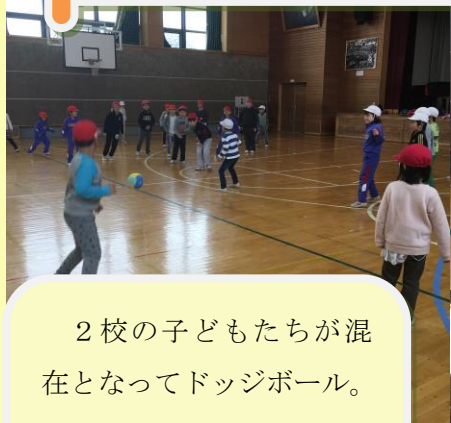
交流では、どちらかの学校に子どもたちが、車または歩きで移動します。交流場所によっては、両校ともに移動することもありました。同年の子どもたちどうしが同じ時間を過ごすことで、お互いを少しでも知り合う機会となります。

交流の始まる前には、しばらくの緊張感もみられましたが、交流が始まるとそのような気持ちも次第に打ち解けて、いつの間にかその活動にみんなで浸りこんでいます。小学生の素晴らしいところです。子どもたちなりに、他校の皆さんに関心を持って、ゲーム、音楽、運動等を通して親しい間柄になっていこうとする主体性のある姿がたくさん見られました。

今後も交流会や他校の行事に参加する機会を通して、交流の輪が広がっていくことを期待します。統合まで1年と少しになってきました。他校の子どもたちとの心の距離もだんだんと近くなってきています。

交流スナップ①三水地区2年生交流(11月24日)

(場所: 三水第二小学校)



2校の子どもたちが混在となってドッジボール。それぞれのチームのために力を合わせていました。



ジャンケン列車、肩を組んでいるうちに、同じ学校の仲間のようにチームの結団が高まりました。



音楽室

<学校探検>

三水第二小学校の皆さんの案内で
教室見学



図書館



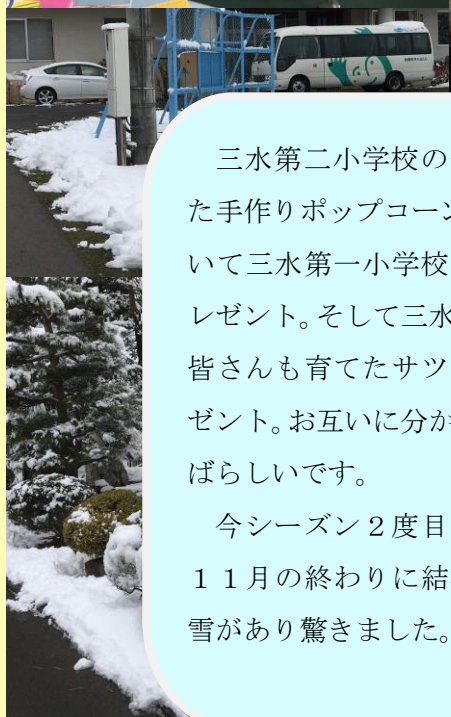
校長室



保健室



ランチルーム



三水第二小学校の皆さんが育てた手作りポップコーン。この日に焼いて三水第一小学校の皆さんへプレゼント。そして三水第一小学校の皆さんも育てたサツマイモをプレゼント。お互いに分かち合う心が素晴らしいです。

今シーズン2度目の雪でした。11月の終わりに結構まとまった雪があり驚きました。



交流スナップ②牟礼地区3年生交流(11月28日)

(場所: 牟礼西小学校)



名刺交換



ボールゲーム



人間知恵の輪



学校探検



3年生ともなると交流の内容を子どもたちで話し合っ決めてしたり、当日の活動も子どもたちが主体となって進めたりしていました。短時間に集中して名刺交換、ドッジボール、ゲーム、学校探検を行い、平成30年度に同じ学校の5年生となる皆さんのお互いを知り合う機会となりました。

児童館（赤東児童クラブ・三水児童クラブ）

子どもたちが学校の授業を終えるとそのまま帰宅する人、あるいは児童館で過ごしてから保護者の方のお迎えで帰宅する人というように過ごしています。

児童館は現在、三水地区に赤東児童クラブと三水児童クラブの2箇所、牟礼地区に福井団地児童クラブ、牟礼東児童クラブ、牟礼西児童クラブの3箇所、合計5箇所あります。

下校後から保護者の方が就労等で家に戻られるまでの間過ごす場所として役割を果たしている児童館です。

平成30年度の統合後もその機能が継続していく予定です。

児童館は自分の学年の人との関わりも大きいですが、他学年の人との関わりも大きいところです。小学校の縦割り活動のように各学年が混じっての関わり場となっています。

児童館の教室で宿題や自主学習を始める人。体育館で一輪車・ボール遊び等を始める人。子どもの主体性に任された空間と時間になっています。異学年との濃密な関わりも見られます。将来の自立に向けて力をつけている一つの場面になっていると思います。

児童館、学校、保護者それぞれが連携を密にすることで、下校後の子どもたちの豊かな生活環境がますます充実していくものと思います。

